

活動情報



第 1 7 号



繁忙期の短期労働力確保に向けて先進事例を学ぶ ー筑豊地域花き生産者連絡協議会が全体研修会を開催ー

飯塚・田川地域の花き生産者、農林事務所、飯塚・田川の両普及指導センターで構成する筑豊地域花き生産者連絡協議会は、令和6年10月3日に全体研修会を開催し、会員生産者と関係機関の約25名が参加しました。

花きに限らず、人口減少・高齢化の進展に伴い繁忙期の労働力確保に苦心する農業経営体は少なくありません。そこで今回の研修会では、県内で活用が始まっている新しい農業サービスに着目し、農業アルバイトマッチングサービス「デイワーク」の導入事例についてJAふくおか八女の光延氏から、また（株）NEWアグリ（旧菜果野アグリ）の農作業受託サービスについて同社の堀井氏から、それぞれ講演いただきました。併せて飯塚普及指導センターからも管内の雇用導入事例を紹介しました。

「デイワーク」は、スマホアプリを通じて農業アルバイトの求人を行い、農業に関心のある求職者と1日単位で効率よくマッチングするサービスで、求人条件を詳しく示すことでミスマッチを回避できるのも特長です。

一方、NEWアグリ社の農作業受託サービスは、収穫やビニル張り等の依頼内容に応じて熟練スタッフが作業を実施し、天候変化等にも柔軟に対応できる点が特長です。

研修会参加者の関心は高く、「雇用は難しいと考えていたが、ハードルが下がった」「さっそくアプリを使って募集してみたい」といった感想が聞かれ、活発な質疑を通じて、各サービスの特徴を理解して選択・利用することの大切さも共有されました。

今後も、普及指導センターでは関係機関と連携し、労働力確保などの経営課題の解決を通じて、花き産地の発展を支援します。



研修会の様子